

令和7年度第1回薩摩川内市原子力安全対策連絡協議会会議概要

開催年月日 令和7年 5月27日(火) 午後1時30分～

開催先 薩摩川内市消防局 2階多目的ホール

1. 開 会
2. あいさつ
3. 紹 介
4. 協 議

(1)川内原子力発電所周辺環境放射線調査結果(令和6年10月～12月)について

【質 疑】(2) と合わせて質疑を受ける。

(2)令和7年度川内原子力発電所周辺環境放射線調査計画について

【質 疑】(1) (2) 合わせて質疑後、了承

<委 員>資料2調査計画の10ページに、陸土の放射能分析ということで、隈之城から日置市の住吉まで広範囲に計画されているが、素人考えではそんなに広範囲ではなくてもいいのではと思うのだが、設定理由を教えてください。

<鹿児島県>陸土の調査地点だが、前回令和2年～6年度まで調査を行った際、国の方から鹿児島県の調査は原発周辺に偏りすぎているとの指摘を受け、国の交付金を受けて実施している関係もあり、今回からは、30km圏内において満遍なく調査を行うこととしているところである。

<委 員>資料1の放射線調査結果だが、「前回まで」というのは、7～9月ということか、あと、月によってばらつきがあるのであれば、前年度の同じ月と比較したほうが良いのではと考えるが。

<事務局>「前回までの調査範囲」というのは、調査開始した昭和56年から前回までということになる。あと、前年度の同じ月と比較したほうが良いのではというご質問だが、環境放射線の調査結果については、例えば気候で違ったり、雨とか風向きとか様々な要因で変化するので、前年の同じ時期と比較するのではなく、全ての時期の色々な影響を考慮したうえで比較するというので、前回までの範囲と比べて実施しているところである。

<委 員>資料1で、今回の調査結果は3か月分の調査結果であるが、速報値は無いのか。

<事務局>速報値については、地点ごとに県の環境放射線のHPでリアルタイムに公表しているところである。またHP以外でも、市役所の本庁・支所、川内駅などに設置してある表示装置モニターでも確認することができる。また、スマホでも県の原子力防災アプリでリアルタイムに確認できるようになっている。なお、県の原子力防災アプリについては後ほどご紹介するので、ご参考にしていただきたいと思います。

(3)川内原子力発電所の運転状況について

【質 疑】特になし 了承

(4)川内原子力発電所令和6年度第3四半期原子力規制検査報告書について

【質 疑】特になし 了承

5. その他

(1)川内原子力発電所の現況について

【質 疑】質疑後、了承

<委 員>タービン動補助給水ポンプの取替えのタイミングは。今回で何回目か。

<九州電力>今回取り替えるのは初めてである。ポンプをいつ変えなければならないという様な頻度に決まりはなく、その時々状況に応じて交換しているところである。今回の定期検査で交換後、次回はいつ交換というようなところは現在未定である。

<川内原子力規制事務所>先ほど九州電力より説明のあった、令和6年度第4半期の原子力規制検査結果だが、先日5月21日に規制委員会で審議され、翌22日に原子力規制委員会のHPで公開されているものである。詳細については次回の原安協で御説明するのでよろしく願います。

(2)鹿児島県原子力防災アプリについて

【質 疑】特になし 了承

(3)川内原子力発電所視察の開催について

【質 疑】特になし 了承

6. 閉 会